

令和5年6月26日
一般財団法人ヒートポンプ・蓄熱センター

カーボンニュートラル実現への切り札「ヒートポンプ・蓄熱システム」 ～『ヒートポンプ・蓄熱月間』がスタート～

一般財団法人ヒートポンプ・蓄熱センター（東京都中央区、理事長：小宮山 宏）では、電気需要最適化、省エネルギー性・環境性に優れているだけでなく、“脱炭素社会の実現”にも貢献し、災害時の蓄熱槽水利用でレジリエンスな街づくりや再生可能エネルギー主力時代の電力系統オペレーションにも対応できる「ヒートポンプ・蓄熱システム」の普及促進と技術向上を目的に事業を行っています。

こうした中、冷房需要が本格化する毎年7月を『ヒートポンプ・蓄熱月間』と定め、各省庁・関係諸団体のご後援・ご協賛のもと、産官学一体となり、様々な活動を実施してきました。

26年目を迎える本年も、これまでと同様、ヒートポンプ・蓄熱システムの普及拡大にご貢献いただいた企業・団体への感謝状（盾）の贈呈をはじめとした活動を展開してまいります。

1. 期間

令和5年7月1日（土）～令和5年7月31日（月）

2. 活動内容

- ① ヒートポンプ・蓄熱システムの普及にご貢献いただいた52企業・団体への感謝状（盾）を贈呈

《詳細は資料3をご参照ください》

- ② ヒートポンプ・蓄熱シンポジウムの開催

ヒートポンプ・蓄熱システムの運転管理の更なる向上に向け、特に優秀な蓄熱システムの設備、運転管理に関わる改善事例の発表を中心に、設備オーナーならびに空調設備に関係される設計者、施工技術者、および運転管理者の方々を対象に開催します。

《詳細は資料1をご参照ください》

- ③ 電気需要最適化・省エネルギー社会実現セミナーの開催

電気需要最適化・省エネルギーの重要性等を訴求し、それに役立つヒートポンプ・蓄熱システムの普及促進に資するセミナーを札幌市（7/7）で開催します。

- ④ ヒートポンプ・蓄熱システム先進導入事例セミナー・施設見学会の開催

マスコミやユーザー等のヒートポンプ・蓄熱システムに対する理解促進と認知度向上を目的として、先進事例の採用ユーザーによる講演や設備見学を千代田区神田（7/12）で開催します。

- ⑤ 『ヒートポンプ・蓄熱月間』リーフレットの作成・配布

「ヒートポンプ・蓄熱月間」中の活動内容や電気の需要の最適化や省エネ・省CO₂効果等について、分かりやすく説明したリーフレットを配布。

《詳細は参考2をご参照ください》

- ⑥ インターネットホームページにて告知

当センターホームページにて、『ヒートポンプ・蓄熱月間』の告知

《 <https://www.hptcj.or.jp/> 》

3. 後援・協賛一覧

「ヒートポンプ・蓄熱月間」では趣旨にご賛同をいただいた以下の関係省庁・団体からご後援・ご協賛を賜っております。

【後援】(11 省庁、3 国立研究開発法人)

経済産業省、警察庁、総務省、法務省、外務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省
国土交通省、環境省、防衛省、国立研究開発法人 国立環境研究所
国立研究開発法人 産業技術総合研究所、国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構

【協賛】(43 団体)

(一財)エネルギー総合工学研究所、(公社)空気調和・衛生工学会、
(一財)住宅・建築 SDG s 推進センター、(一社)建築設備技術者協会、(一社)建築設備総合協会、
(一財)建築保全センター、(一社)公共建築協会、(一社)住宅生産団体連合会、
(一財)省エネルギーセンター、(公社)全国ビルメンテナンス協会、電気事業連合会、
(一社)電気設備学会、(一財)電力中央研究所、東京商工会議所、
(一財)日本エネルギー経済研究所、(一社)日本エレクトロヒートセンター、(公財)日本環境協会、
(一社)日本機械学会、(一社)日本経済団体連合会、(一社)日本建設業連合会、
(一社)日本建築学会、(一財)日本建築センター、日本商工会議所、(財)日本消費者協会、
(公社)日本青年会議所、(一社)日本設備設計事務所協会連合会、(一財)日本地域開発センター、
日本チェーンストア協会、(一社)日本電機工業会、(一社)日本電設工業協会、
(公社)日本都市計画学会、(一社)日本百貨店協会、(一社)日本病院会、
(一社)日本ビルエネルギー総合管理技術協会、(一社)日本ビルディング協会連合会、
(公社)日本ファシリティマネジメント協会、(公社)日本冷凍空調学会、(一社)日本冷凍空調工業会、
(一社)日本冷凍空調設備工業連合会、(一社)不動産協会、(一社)文教施設協会、
(一財)ベターリビング、(公社)ロングライフビル推進協会
(五十音順)

以上

(添付資料)

《資料 1》「ヒートポンプ・蓄熱シンポジウム」イベント取材のご案内

《資料 2》「ヒートポンプ・蓄熱シンポジウム」参加申込書

《資料 3》ヒートポンプ・蓄熱月間リーフレット

《資料 4》感謝状(盾)贈呈先一覧

《参考》ヒートポンプ・蓄熱システムについて

<お問い合わせ先>

一般財団法人ヒートポンプ・蓄熱センター 業務部 廣津
〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1丁目28番5号 ヒューリック蛸殻町ビル6階
TEL.03-5643-2401 FAX.03-5641-4501

2023 年 6 月 26 日

一般財団法人 ヒートポンプ・蓄熱センター

《イベント取材のご案内》

『ヒートポンプ・蓄熱 シンポジウム』開催

「ヒートポンプ・蓄熱システム」の“運転管理面”などの事例を表彰

7 月 24 日(月)13:00~17:25 「国際ファッショセンタービル 3 階 KFC Hall」

一般財団法人ヒートポンプ・蓄熱センターでは、電気の需要の最適化や省エネルギー、CO₂ 排出量削減に貢献する「ヒートポンプ・蓄熱システム」の“運転管理”において優れた改善をあげた事例を発表する『ヒートポンプ・蓄熱シンポジウム』を、7 月 25 日(月)、「国際ファッショセンタービル 3 階 KFC Hall (東京都墨田区)」にてWeb 併用で開催いたします。

「ヒートポンプ・蓄熱システム」は、電力需要の少ない時間帯に効率の良いヒートポンプ機器で水や氷に熱を蓄え、電力需要の多い時間帯に、電気の需要の最適化と省エネルギー、CO₂ 削減を同時に達成できるシステムです。しかし、同システムは、“導入すれば完了”ではなく、その能力が最大限に発揮されるよう、システムが常に最適な状態で運転されるためのたゆまぬ維持・改善が必須です。

一般財団法人ヒートポンプ・蓄熱センターでは、この度、「ヒートポンプ・蓄熱システム」の運転管理、運用、設備の改良などにより改善のあった事例とヒートポンプ・蓄熱システムの運用による電気の需要の最適化や非常災害時の対応などの有効活用事例及び未利用エネルギーを活用したヒートポンプシステムの運用改善事例を広く募集し、優秀な 6 事例を表彰することとしました。これに伴い、『ヒートポンプ・蓄熱シンポジウム』を開催し、それらの事例に関する発表を行います。この表彰の取り組みと、シンポジウムの開催は、本年度 20 回目となり、今回も、設備オーナーをはじめ、多くの設計、施工、運転管理者が参加する予定です。また、経済産業省 省エネルギー課長(予定)から「省エネ法改正の概要とヒートポンプ・蓄熱システムへの期待」と題した特別講演、エネジープールジャパン株式会社 代表取締役社長兼 CEO 市村 健氏から「電力安定供給と DR Ready の時代」と題した基調講演の他、「ヒートポンプ・蓄熱システムの今後の役割～地域・都市・建物から電力需要を考える～」というテーマで、千葉大学大学院工学研究院創成工学専攻建築学コース 准教授 林 立也氏をコーディネーターにパネルディスカッションも予定しています。

◆ 優秀改善事例発表

味の素冷凍食品株式会社 九州工場	ヒートポンプによるボイラー給水加温
テラスモール松戸	氷蓄熱システムの運用改善による負荷平準効果の拡大と 運転効率の向上
株式会社 NHD farm	生乳の廃熱を回収する自然冷媒型ヒートポンプ給湯システム の導入及び運用改善

◆ デマンドサイドマネジメント表彰事例発表

虎ノ門エネルギーネットワーク株式会社	虎ノ門一丁目地区における大規模蓄熱槽を活用した電力 負荷平準化とデマンドレスポンスの取り組み
--------------------	---

つきましては、本シンポジウムを報道関係の皆様には是非ご取材いただきたく存じます。

ご多用中とは存じますが、ご出席賜りますようよろしくお願いいたします。

『第20回ヒートポンプ・蓄熱シンポジウム』に関する概要

日時	2023年7月24日(月) 13時00分～17時25分 (受付12時30分開始)		
会場	国際ファッションセンタービル3階 KFC Hall (東京都墨田区横網一丁目6番1号)		
交通	都営地下鉄大江戸線「両国駅」A1出口直結 JR中央・総武線「両国駅」東口より徒歩約6分、西口より徒歩約7分		
内容	主催者挨拶	13:00 ～13:10	一般財団法人ヒートポンプ・蓄熱センター 専務理事 浅井 亨
	特別講演 『省エネ法改正の概要とヒートポンプ・蓄熱システムへの期待』	13:10 ～14:00	経済産業省 省エネルギー課長 (予定)
	休憩	14:00 ～14:05	
	受賞者紹介	14:05 ～14:10	優秀改善事例 デマンドサイドマネジメント表彰事例
	事例発表	14:10 ～15:10	運転管理等の改善 優秀改善事例 ・味の素冷凍食品株式会社九州工場 ・テラスモール松戸 ・株式会社 NHD farm デマンドサイドマネジメント表彰事例 ・虎ノ門エネルギーネットワーク株式会社
	休憩	15:10 ～15:20	
	基調講演 『電力安定供給とDR Readyの時代』	15:20 ～16:00	エネジープールジャパン株式会社 代表取締役社長兼 CEO 市村 健氏
パネルディスカッション 『ヒートポンプ・蓄熱システムの今後の役割』 ～地域・都市・建物から電力需要を考える～	16:00 ～17:20	《コーディネーター》 千葉大学大学院工学研究院 創成工学専攻建築学コース 准教授 林立也氏 《パネリスト》 一般社団法人社会科学研究機構 プリンシパルエンジニア 佐々木 邦治氏 株式会社竹中工務店 設計本部 プリンシパルエンジニア(環境担当) 高井 啓明氏 ダイキン工業株式会社 テクノロジー・イノベーションセンターグループリーダー 首席技師 松井 伸樹氏	
お問合せ先	○講演者および講演内容については、変更になる場合がございます。 一般財団法人 ヒートポンプ蓄熱センター 蓄熱技術部 : 梶浦 TEL :03-5643-2403		

※なおシンポジウムの開催に先立ち、表彰式(関係者のみ)を開催いたしますので、ご都合がよろしければ、合わせてご取材をお願いいたします。

◆ヒートポンプ・蓄熱システム運転管理等の改善事例 表彰式

7月24日(月) 11:00～11:30(関係者集合時間 10:45) 国際ファッションセンタービル 11階 Room115

一般財団法人 ヒートポンプ・蓄熱センター 蓄熱技術部 : 梶浦 宛

アドレス : kajiura.masatoshi@hptcj.or.jp

『第 20 回ヒートポンプ・蓄熱 シンポジウム』

日時 : 7月 24 日 (月) 13 時 00 分～17 時 25 分

会場 : 国際ファッションセンタービル 3 階 KFC Hall

シンポジウムの一部に参加する場合は、下記に○印をご記入下さい

(全てご出席の場合は不要です)

	特別講演	13:10～14:20
	受賞者紹介・事例紹介	14:05～15:10
	基調講演	15:20～16:00
	パネルディスカッション	16:00～17:20

※シンポジウムに加え、表彰式にご参加頂ける場合には、下記に○印をご記入ください。

	ヒートポンプ・蓄熱システム運転管理等の改善事例 表彰式 (国際ファッションセンタービル 11 階 Room115)	11:00～11:30
--	--	-------------

貴社名 :

貴媒体名 :

貴部署名 :

役職 :

ご芳名 :

T E L :

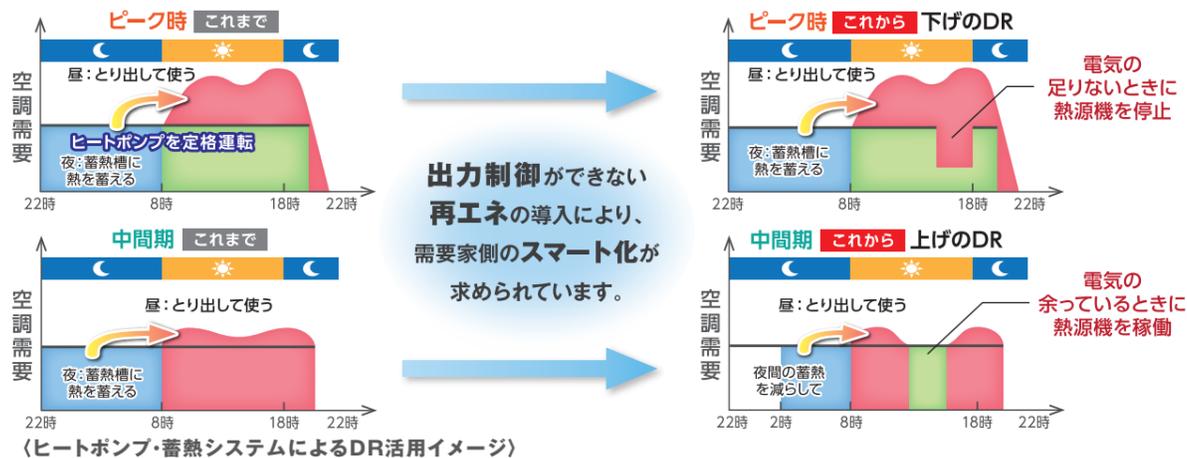
F A X :

E - m a i l :

お手数ですが、本票を、**7月 14 日(金)までにメール**にてお送りくださいますようお願い申し上げます。

蓄熱の新しい使い方

再生可能エネルギー主力時代の電力系統オペレーションに対応
再生可能エネルギーの有効活用で経済的で持続可能な社会を実現!



蓄熱システムの柔軟な運用がディマンドレスポンスのカギ

持続可能な社会の実現には、再生可能エネルギーの主力電源化が必要ですが、「自然環境に応じて出力が変動する」という特徴に応じた対策が必要です。その対策の一つがディマンドレスポンス(DR)。需要家側設備を制御し、電力需要パターンを変化させることです。ヒートポンプ・蓄熱システムは、電気エネルギーを効率よく熱エネルギーに変換・蓄積し、必要な時に熱を取り出すシステムであることから、DRへの活用が期待されています。

補助金のご案内

省エネルギー投資促進支援事業費補助金

C指定設備
導入事業

指定された設備へ更新する事業の一部を補助する制度です。

対象となる設備(ユーティリティ)

- ① 高効率空調 (業務・産業用空調エアコン等)
- ② 産業ヒートポンプ
- ③ 業務用給湯器
- ④ 高性能ボイラ
- ⑤ 高効率コージェネレーション
- ⑥ 低炭素工業炉
- ⑦ 変圧器
- ⑧ 冷凍冷蔵設備
- ⑨ 産業用モータ
- ⑩ 制御機能付きLED証明器具

対象となる設備(生産設備)

- ⑪ 工作機械
- ⑫ プラスチック加工機械
- ⑬ プレス機械
- ⑭ 印刷機械
- ⑮ ダイカストマシン

補助対象経費

設備費

補助率

1/3以内
●条件あり(事業規模等により設定あり)

補助金限度額

上限額 1億円/事業全体 下限額 30万円/事業全体

お問合せ先

一般財団法人環境共創イニシアチブ Tel:0570-008-726
[IP電話からのお問合せ:042-204-1710]

高効率給湯器導入促進による家庭部門の省エネルギー推進事業費補助金

導入する高効率給湯器に応じて定額を補助する制度です。

補助対象

設置する住宅	補助事業者(補助対象者)	(リースの場合)共同事業者
新築注文住宅	住宅の建築主	給湯器の所有権を有するリース事業者
新築分譲住宅	住宅の購入者	
既存住宅	工事発注者	

補助額

設置する給湯器	補助額	補助上限(住戸あたり)
ヒートポンプ給湯機(エコキュート)	5万円/台	戸建住宅 いずれか2台まで
電気ヒートポンプ・ガス瞬間式併用型給湯機(ハイブリット給湯機)		共同住宅 いずれか1台まで
家庭用燃料電池(エネファーム)	15万円/台	

お問合せ先

住宅省エネ2023キャンペーン 補助事業合同お問い合わせ窓口 Tel:0570-200-594
[IP電話からのお問合せ:045-330-1340]

一般財団法人ヒートポンプ・蓄熱センター

ヒートポンプ・蓄熱月間実行専門委員会 事務局
〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1丁目28番5号 ヒューリック蛸殻町ビル6階
Tel:03-5643-2401 Fax:03-5641-4501 https://www.hptcj.or.jp



主催：一般財団法人ヒートポンプ・蓄熱センター/ヒートポンプ・蓄熱月間実行専門委員会

後援：経済産業省/警察庁/総務省/法務省/外務省/文部科学省/厚生労働省/農林水産省/国土交通省/環境省/防衛省/国立研究開発法人 国立環境研究所/国立研究開発法人 産業技術総合研究所/国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構

協賛：一般財団法人 エネルギー総合工学研究所/公益社団法人 空気調和・衛生工学会/一般社団法人 建築設備技術者協会/一般社団法人 建築設備総合協会/一般財団法人 建築保全センター/一般社団法人 公共建築協会/一般財団法人 住宅・建築SDGs推進センター/一般社団法人 住宅生産団体連合会/一般財団法人 省エネルギーセンター/公益社団法人 全国ビルメンテナンス協会/電気事業連合会/一般社団法人 電気設備学会/一般財団法人 電力中央研究所/東京商工会議所/一般財団法人 日本エネルギー経済研究所/一般社団法人 日本エレクトロヒートセンター/公益財団法人 日本環境協会/一般社団法人 日本機械学会/一般社団法人 日本経済団体連合会/一般社団法人 日本建設業連合会/一般社団法人 日本建築学会/一般財団法人 日本建築センター/日本商工会議所/一般財団法人 日本消費者協会/公益社団法人 日本青年会議所/一般社団法人 日本設備設計事務所協会連合会/一般財団法人 日本地域開発センター/日本チェーンストア協会/一般社団法人 日本電機工業会/一般社団法人 日本電設工業協会/公益社団法人 日本都市計画学会/一般社団法人 日本百貨店協会/一般社団法人 日本病院会/一般社団法人 日本ビルエネルギー総合管理技術協会/一般社団法人 日本ビルデング協会連合会/公益社団法人 日本ファシリテイマネジメント協会/公益社団法人 日本冷凍空調学会/一般社団法人 日本冷凍空調工業会/一般社団法人 日本冷凍空調設備工業連合会/一般社団法人 不動産協会/一般社団法人 文教施設協会/一般財団法人 ベタリビング/公益社団法人 ロングライフビル推進協会

ヒートポンプ・蓄熱システムで、環境と未来の暮らしを守る！

冷房需要が本格化する毎年7月を「ヒートポンプ・蓄熱月間」と定め、電気の需要最適化、省エネルギー性・環境性に優れ、非常災害時には蓄熱槽水を消防用水や生活用水として活用することができる「ヒートポンプ・蓄熱システム」の普及促進と技術向上を目的に産官学が一体となり、感謝状(盾)贈呈やシンポジウム開催などの活動を展開しています。

脱炭素社会を実現するヒートポンプ・蓄熱システム

我が国では、「2050年カーボンニュートラル」を掲げ、温室効果ガスの削減に向けて大胆に取り組むとする中、菅総理大臣は、日本の2030年度の温室効果ガス削減目標を「2013年度から46%削減し、さらに50%の高みに向け挑戦を続けていく」と宣言しました。この目標を実現するため、再生可能エネルギーの主力電源化とヒートポンプ等の技術を活用した脱炭素化を目指す将来像が示されており、ヒートポンプ・蓄熱システムによる電気や熱のマネジメントに大きな期待が高まっています。こうした中、26回目を迎える令和5年度のヒートポンプ・蓄熱月間においても、ヒートポンプ・蓄熱システムの普及に向けた以下の活動を展開してまいります。

ヒートポンプ・蓄熱月間における主な活動内容



活動内容 1 ヒートポンプ・蓄熱システムの普及に貢献いただいた企業・団体への感謝状(盾)贈呈

さまざまなお立場からヒートポンプ・蓄熱システムの普及にご尽力いただいた企業・団体の皆さまに感謝状を贈呈しています。今年は、「ヒートポンプ・蓄熱普及貢献賞」「特別感謝状」あわせて52企業・団体の皆さまに贈呈させていただきます。

活動内容 2 「第20回ヒートポンプ・蓄熱シンポジウム」の開催

“ヒートポンプ・蓄熱システム”の運転管理の更なる向上に向け、特に優秀な蓄熱システムの設備、運転管理に関する改善事例の発表を中心に、設備オーナー、ならびに空調設備に関係される設計者、施工技術者、および運転管理者の方々を対象に開催します。

シンポジウム	日時	令和5年7月24日(月) 13:00~17:25	場所	国際ファッションセンタービル(KFC Hall)
施設見学会	日時	令和5年7月25日(火) 10:00~12:30	場所	竹中工務店東京本社 竹中セントラルビルサウス

特別講演 省エネ法改正の概要とヒートポンプ・蓄熱システムへの期待

経済産業省 省エネルギー課長

基調講演 電力安定供給とDR Readyの時代

エナジーホールジャパン株式会社
代表取締役社長 兼 CEO

市村 健氏



※講演者および講演内容については、変更になる場合がございます

活動内容 3 「電気需要最適化・省エネルギー社会実現セミナー」の開催

電気需要最適化・省エネルギーの重要性等を訴求し、それに役立つヒートポンプ・蓄熱システムの普及促進に資するセミナーをを札幌市(7/7)で開催します。

活動内容 4 「ヒートポンプ・蓄熱システム先進導入事例セミナー・施設見学会」の開催

マスコミやユーザー等のヒートポンプ・蓄熱システムに対する理解促進と認知度向上を目的として、先進事例の採用ユーザーによる講演や設備見学会を千代田区神田(7/12)で開催します。

活動内容 5 告知・PR

リーフレット、ホームページやメルマガにより、「ヒートポンプ・蓄熱月間」の紹介とともに、ヒートポンプ・蓄熱システムの電気の需要最適化に加え、省エネルギー・省CO₂効果ならびに蓄熱槽水の非常災害時活用としてのレジリエンス、蓄熱槽を活用したダイヤモンドリスボンスについて訴求します。また、今回はメディアを活用した普及啓発などを実施します。

ヒートポンプ・蓄熱システムについて

ヒートポンプ・蓄熱システムはさまざまな場面で活躍しています！



ヒートポンプ機器は、熱と圧力の性質を利用して、空気をはじめ河川や地中、海水などの自然の熱* (再生可能エネルギー)を「集めて」、必要なところに「運ぶ」ことによって、冷房・暖房や給湯をはじめ、工場の製造工程などにも利用されています。また、蓄熱槽と組み合わせることにより、電気需要最適化と省エネルギーを同時に実現することができます。

*太陽によって、くり返し暖められる再生エネルギーなので、燃料消費量やCO₂排出量を大幅に削減することができます。

$$1 \text{ の電気エネルギー} + 2\sim6 \text{ の再生可能エネルギー} = 3\sim7 \text{ の熱エネルギー}$$

ヒートポンプ・蓄熱システムのメリット

メリット 1 快適に空調を利用しながらピーク電力が削減できます！

ヒートポンプ・蓄熱システムによって、昼間の冷房に必要な冷熱の半分を夜間に「蓄えた」冷水や氷で賄った場合、事務所建物のモデルケースにおいては、冷房をいつも通りに使用しても建物全体のピーク電力を約2割カットすることができます。

〈事務所建物のモデルケース〉

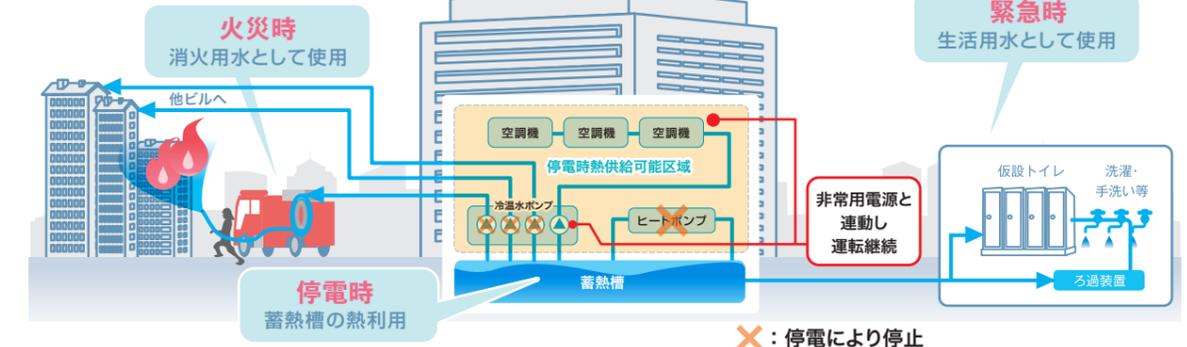


メリット 2 非常災害時には生活用水や消火用水として利用できます！

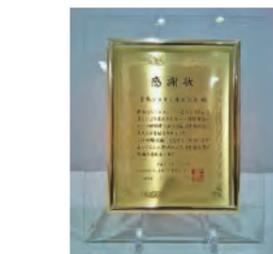
蓄熱槽に蓄えた水は、非常災害時において、トイレや手洗いなどの生活用水や火災時の消火用水として利用することができます。さらに、災害時に停電となった場合でも、蓄熱槽が保有する熱を利用することにより、冷暖房を行うことができます。

建築物省エネ法における誘導措置(平成28年4月施行)においては、性能向上計画の認定を受けた場合、容積率特例などのメリットを受けることができます。(容積率特例の対象設備として蓄熱設備が含まれています。)

〈蓄熱槽水の利用イメージ〉



×：停電により停止



感謝状(盾)



第19回ヒートポンプ・蓄熱シンポジウムの様子



採用事例施設見学会の様子

「ヒートポンプ・蓄熱月間」感謝状贈呈先



蓄熱システムをはじめ、高効率ヒートポンプ等に関して「育てる」、「広める」、「活かす」という様々な観点から、ヒートポンプ・蓄熱システムの普及に貢献いただいた44企業・団体の皆さま

<p>北海道</p> <p>株式会社ローソン 様 『ローソン札幌新発寒1条店』</p> <p>木店店舗の最新出店においてもヒートポンプエアコンを採用し、寒冷地において大幅な省エネルギーを実現</p>	<p>東北</p> <p>青森保健生活協同組合 様 『協立クリニック』</p> <p>高効率電気式ヒートポンプ空調の導入により、大幅な省エネルギー・CO₂削減を実現</p>	<p>東北</p> <p>株式会社フタバ平泉 様</p> <p>ヒートポンプ空調機の導入により、生産現場の環境改善と大幅な省エネルギーを実現</p>
<p>東北</p> <p>株式会社深松組 様 仙台reborn株式会社 様 『アクアイグニス仙台』</p> <p>省エネ設備導入によるエネルギーの共生により、東日本大震災の被災地に賑わいを取り戻すことを目指す</p>	<p>東北</p> <p>渋谷建設株式会社 様</p> <p>電気式ヒートポンプエアコンの導入により、省エネルギーを実現し、環境負荷軽減に貢献</p>	<p>東北</p> <p>社会福祉法人古殿町社会福祉協議会 様 『コスモス荘』</p> <p>業務用エコキュート・ヒートポンプ空調の導入により、大幅な省エネルギーとCO₂の削減を実現</p>
<p>東北</p> <p>株式会社加治川の里 様 介護付き有料老人ホーム『ウェルハート加治川の里』</p> <p>ヒートポンプの有効活用と運転改善により、大幅な省エネルギーを実現</p>	<p>東京</p> <p>慶應義塾 様 『湘南藤沢キャンパス』 日本ファシリティ・ソリューション株式会社 様</p> <p>空冷ヒートポンプへの更新によるコストとエネルギー消費量の削減、情報系端末施設のBCP対策を実現</p>	<p>東京</p> <p>株式会社セブン&アイ・フードシステムズ 様</p> <p>ガス給湯器からハイブリット給湯機へのリニューアルにより大幅な省エネルギーと省CO₂を実現</p>
<p>東京</p> <p>バキュームモールド工業株式会社 様</p> <p>空調設備リニューアルにあたり、ヒートポンプを導入し、省エネルギーを達成</p>	<p>東京</p> <p>公益財団法人山梨厚生会塩山市民病院 様</p> <p>超高効率型空冷ヒートポンプチャラーの導入により大幅な省エネルギーを実現</p>	<p>東京</p> <p>河口湖商業開発株式会社 様</p> <p>高効率ヒートポンプシステムの採用による大幅な省エネルギーを実現</p>
<p>東京</p> <p>日本リート投資法人 様</p> <p>ヒートポンプと蓄熱システムを有効活用等の運転改善により、大幅な省エネルギーを実現</p>	<p>東京</p> <p>株式会社懇和会館 様</p> <p>CNに伴うグリーン成長戦略の取組みとして、セントラル空調熱源をガス吸収式冷温水発生機からモジュール型空冷ヒートポンプチャラーに更新</p>	<p>東京</p> <p>関西ペイント株式会社 様 『平塚事業所』</p> <p>吸収式冷凍機から高効率空冷チャラーへのプロセス冷却用熱源更新</p>
<p>東京</p> <p>株式会社総合車両製作所 様</p> <p>塗装乾燥工程に循環加温型ヒートポンプを導入することで大幅な省エネルギー、CO₂削減を実現</p>	<p>東京</p> <p>鴨川シーワールド 様</p> <p>ヒートポンプ有効活用等の運転改善により、大幅な省エネルギーを実現</p>	<p>東京</p> <p>学校法人神奈川歯科大学 様</p> <p>冷房用空冷チャラー+暖房用パコティンヒーター(灯油)から高効率空冷チャラーへの熱源更新</p>
<p>東京</p> <p>グランディハウス株式会社 様 千葉グランディハウス株式会社 様</p> <p>分譲地への未来を先取りした「おひさまエコキュート」採用による環境への貢献</p>	<p>東京</p> <p>中星工業株式会社 様</p> <p>高効率ヒートポンプシステムの採用による大幅な省エネルギーを実現</p>	<p>東京</p> <p>三井農林株式会社 様</p> <p>氷蓄熱機器更新による省エネルギーを実現</p>
<p>東京</p> <p>株式会社やまびこ 様</p> <p>高効率空冷ヒートポンプチャラーの導入により大幅な省エネルギー・CO₂削減を実現</p>	<p>北陸</p> <p>医療法人社団双星会 様 『みなみの星病院』</p> <p>高効率ヒートポンプ空調・業務用エコキュートの採用により、省エネルギーを実現</p>	<p>中部</p> <p>トヨタホーム株式会社 様</p> <p>住宅分野における家庭用エコキュートの積極採用による環境保全・省エネルギーの実現および先進的な住宅システムの普及に貢献</p>

「ヒートポンプ・蓄熱月間」感謝状贈呈先

ヒートポンプ
蓄熱普及
貢献賞

蓄熱システムをはじめ、高効率ヒートポンプ等に関して「育てる」、「拡める」、「活かす」という様々な観点から、ヒートポンプ・蓄熱システムの普及に貢献いただいた44企業・団体の皆さま

<p>中部</p> <p>株式会社山本本店 様 『桑シティホテル』</p> <p>高効率ヒートポンプ空調・業務用エコキュートの導入により、省エネルギーと省CO₂を実現</p>	<p>関西</p> <p>公立大学法人奈良県立医科大学 様</p> <p>ヒートポンプシステムを有効活用等の運転改善により、大幅な省エネルギーを実現</p>	<p>関西</p> <p>箕面市 様</p> <p>ヒートポンプを有効活用等の運転改善により、大幅な省エネルギーを実現</p>
<p>関西</p> <p>株式会社ワコールホールディングス 様</p> <p>ガス吸収式冷温水機から空冷式ヒートポンプチャラーの採用で、大幅な省エネルギー、省コスト、CO₂排出量削減を実現</p>	<p>関西</p> <p>綾部エンブラ株式会社 様</p> <p>空冷式ヒートポンプの採用で、大幅な省エネルギー、省コスト、CO₂排出量削減を実現</p>	<p>関西</p> <p>阪急阪神不動産株式会社 様</p> <p>分譲マンションへのエコキュート並びにエアコン連動形ヒートポンプ式床暖房採用により省エネルギーに貢献</p>
<p>中国</p> <p>ハレミライ千日前全体管理組合 様 株式会社竹中工務店 様 『岡山芸術創造劇場』</p> <p>ヒートポンプと蓄熱システムの活用により、大幅な省エネルギーを実現</p>	<p>中国</p> <p>広島県神石高原町 様 株式会社教育施設研究所 様 『神石高原町立病院』</p> <p>移転新築にあたり、環境負荷低減と省エネルギー性に優れたヒートポンプ・蓄熱システムを採用</p>	<p>中国</p> <p>三菱地所レジデンス株式会社 様 『中国支店』</p> <p>エコキュート群制御システムを採用した次世代省エネマンションの普及拡大</p>
<p>四国</p> <p>松山赤十字病院 様</p> <p>高効率ヒートポンプと蓄熱システムの採用により省エネルギーと負荷平準化を実現</p>	<p>九州</p> <p>日本放送協会 様 『佐賀放送局』</p> <p>環境に配慮した排熱回収ヒートポンプと水蓄熱システムを採用</p>	<p>九州</p> <p>社会医療法人善仁会 様 『宮崎善仁会病院』</p> <p>高効率ヒートポンプ給湯機を導入したオール電化システムの採用により省エネルギーと快適な環境を実現</p>
<p>九州</p> <p>鹿児島中央ビルディング株式会社 様</p> <p>高効率空冷式ヒートポンプチャラーへの更新により省エネルギーを実現</p>	<p>九州</p> <p>嘉麻市 様 『稲築西義務教育学校』『稲築東義務教育学校』 『碓井義務教育学校』</p> <p>ヒートポンプと蓄熱システム採用により、省エネルギー・省コストを実現</p>	<p>沖縄</p> <p>社会医療法人友愛会 様</p> <p>蓄熱システム、冷温水同時取出しヒートポンプ等の機器を導入し、電力のピークカットやエネルギーの有効利用を実現</p>

特別
感謝状

未利用エネルギー等を活用した高効率ヒートポンプシステムを導入された8企業・団体の皆さま

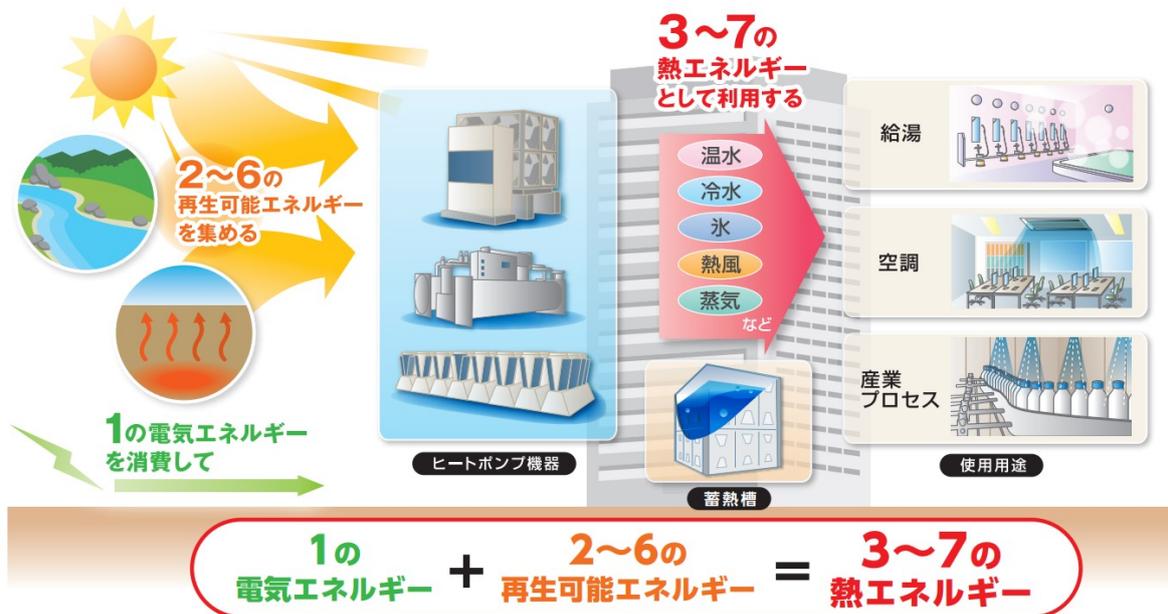
<p>東北</p> <p>国立大学法人秋田大学 様 『大学院国際資源学研究所』</p> <p>揚水データに基づく地下水シミュレーションを活用した地中熱ヒートポンプ冷暖房の高効率化</p>	<p>東京</p> <p>野村不動産株式会社 様 前田・渡辺・中村・増淵建設共同企業体 様 クラフトワーク株式会社 様</p> <p>高次で多様な都市機能の中核を担う交流拠点施設への地中熱利用ヒートポンプ導入</p>	<p>北陸</p> <p>敦賀市 様</p> <p>地中熱の有効活用により、空調の省エネルギーと省コストを実現</p>
<p>中部</p> <p>愛知機械工業株式会社 様</p> <p>吸収式および既存チャラーの更新において、ヒートポンプを導入し、大幅な省エネルギーを実現した</p>	<p>中国</p> <p>株式会社タカキベーカリー 様 『岡山工場』</p> <p>工場排熱を利用したエコキュートの有効活用により、省エネルギー・省CO₂削減を実現</p>	<p>九州</p> <p>福德長酒類株式会社 様</p> <p>焼酎廃液処理施設用ヒートポンプ式濃縮設備(VVCC蒸発器)の導入により大幅な1次エネルギー消費量削減を実現</p>

ヒートポンプ・蓄熱システムについて

＜カーボンニュートラル実現の切り札「ヒートポンプ・蓄熱システム」＞

我が国では、「2050年カーボンニュートラル」を掲げ、温室効果ガスの削減に向けて大胆に取り組むとする中、日本の2030年度の温室効果ガス削減目標を「2013年度から46%削減し、さらに50%の高みに向け挑戦を続けていく」と宣言しました。この目標を実現するため、再生可能エネルギーの主力電源化とヒートポンプ等の技術を活用した脱炭素化を目指す将来像が示されており、ヒートポンプ・蓄熱システムによる電気や熱のマネジメントに大きな期待が高まっています。

このような中、効率水準・汎用性が高く、空気熱・地中熱・河川水熱などの再生可能エネルギーを利用できるヒートポンプ・蓄熱システムの活用は、こうした課題の解決に貢献できるキーデバイスと考えております。

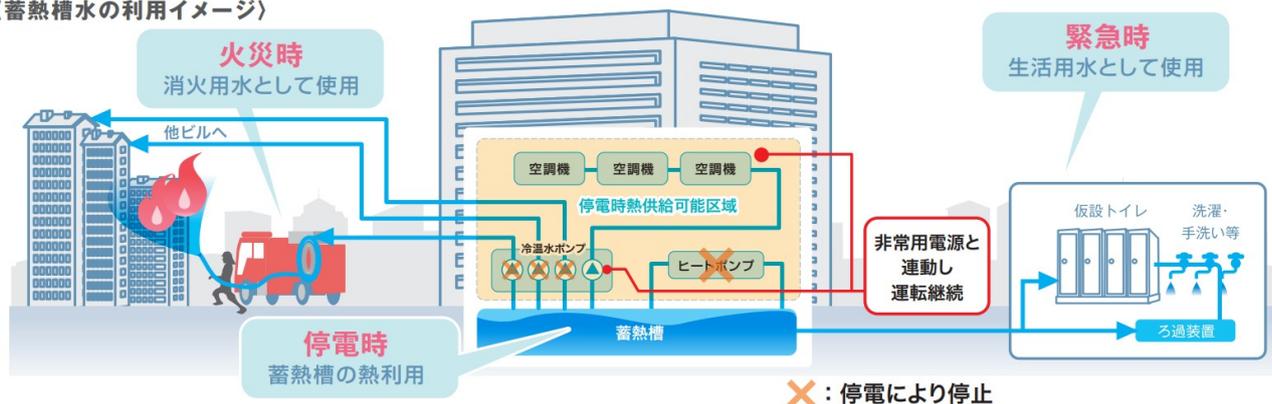


ヒートポンプ機器は電気エネルギーだけでなく、空気や水などから自然の熱（再生可能エネルギー）を「集めて」熱を作るため、高効率な運転が可能です。

＜非常時の蓄熱槽水利用でレジリエンスな街づくり＞

エネルギーと共に“水”の確保は、災害時の重要課題の一つです。ヒートポンプ・蓄熱システムの蓄熱槽に蓄えた水は、非常災害時にトイレなどの生活用水や火災時の消防用水として利用することができ、レジリエンス(強靱)な街づくりの一翼を担うと考えております。

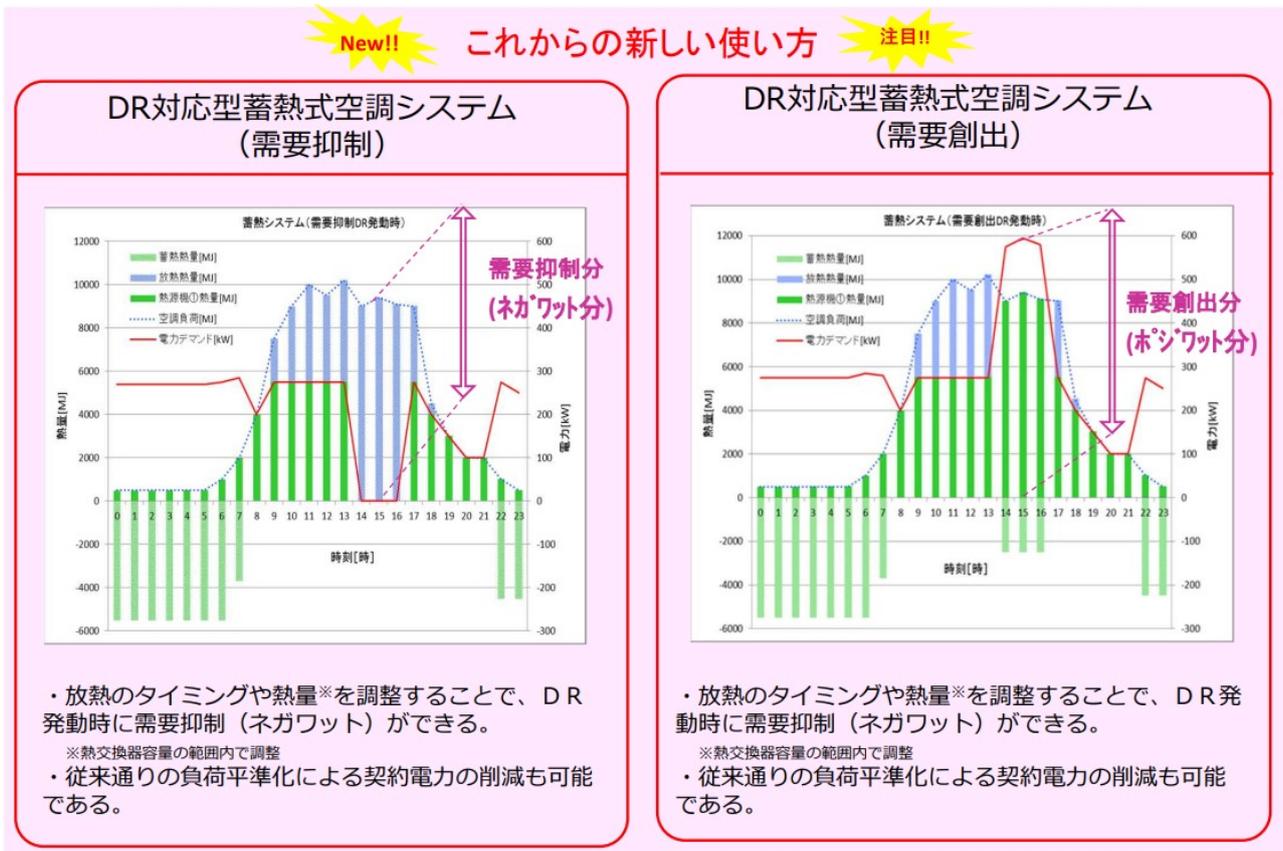
〈蓄熱槽水の利用イメージ〉



＜再生可能エネルギー主力時代の電力系統オペレーションに対応＞

持続可能な社会の実現には、再生可能エネルギーの主力電源化が必要ですが、「自然環境に応じて出力が変動する」という特徴に応じた対策が必要です。その対策の一つがデマンドレスポンス(D R)。需要家側設備を制御し、電力需要パターンを変化させることです。

ヒートポンプ・蓄熱システムは、電気エネルギーを効率よく熱エネルギーに変換・蓄積し、必要な時に取り出すシステムであることから、D Rへの活用が期待されています。



以上